

電子音楽なう!

vol.3

石上 和也 「自作・シンセもどき "HOGE HOGE MACHINE" による即興演奏」

泉川 獅道 「泉川獅道」

大谷 安宏 「guittaarre」

門脇 治 「テープのための音楽 Musique pour ruban」

中川 善裕 「variations of the sea」

林 恭平 「蝶」 演奏: 山田あい子

平山 晴花 「Friskoto」(2014) *世界初演

RAKASU PROJECT. 「壇ノ浦」

2014年7月12日 (土)

18:00開場 18:30開演 2,000円 @CAP CLUB Q2



石上 和也 ISHIGAMI Kazuya

1972年3月 大阪生まれ。高校時代にノイズやミュージック・コンクレート等に興味を持ちマルチトラック音響作品を作り始める。
1990年、大阪芸術大学音楽学科音楽工学コース入学。1997年、INA GRMでの夏期アトリエ参加。2005年9月、DRドイツ国営放送にて[Sonic Escapism]初演・放送。
2006年6月、DRドイツ国営放送にて委嘱作品 [2nd49]初演・放送。2008年12月、DRドイツ国営放送にて[Whisper of Sound God]放送。2010年2月、OMEGA POINTからアークスマティックCD作品集「発心の兆」リリース。2012年12月、実験音楽雑誌「音人」発行。2012年3月、「神戸電子音響音楽祭」主催。SPEAKERS ORCHESTRAメンバー。

泉川 獅道 IZUKAWA Shido

尺八奏者、サウンドプロデューサー、音文化研究者。幼少より西洋音楽教育を受け、ピアノや作曲、さまざまな楽器の演奏法等を学ぶ。大阪芸術大学にて電子音響音楽の創作、仏教芸術としての「虚無僧尺八」の演奏・研究の世界に身を投じ、尺八古典本曲を研究した博士論文と現代音楽作品（テーマ：コンピュータを活用した先端テクノロジーと伝統音楽の融合）の創作により芸術博士号を取得。伝統的な文化背景・脈絡、楽器がもたらす身体性・精神性等を根本に「古くて新しい」日本の電子音響音楽を追究している。グローバル尺八ユニットKurofune、Speakers Orchestraメンバー。東洋音楽学会、情報処理学会会員。大阪芸術大学、神戸山手短期大学非常勤講師。

大谷 安宏 OTANI Yasuhiro

音楽家。ギターとコンピュータで即興～ジャズ～電子音響 ライブイベント「U-Gen laboratory」、「とらわれのギター」オーガナイザー。ロックフェラー財団日本芸術交流プログラム助成アーティスト。日本電子音楽協会会員。日本作曲家協議会会員。

中川 善裕 NAKAGAWA Yoshihiro

札幌生まれ。北海道教育大学札幌校教員養成課程（音楽）、東京芸術大学音楽学部作曲専攻、同大学院音楽研究科作曲専攻修士課程卒業。これまで作曲を木村雅信、南弘明、篠敏郎、林光の各氏に師事、電子音楽法を南弘明氏に師事した。長谷川良夫賞受賞（東京芸術大学）、第58回日本音楽コンクール作曲部門（室内楽）入選、第25回交響楽振興財団作曲賞入選・奨励賞受賞。現在、埼玉工業大学人間社会学部情報社会学科デジタル表現コース（教授）、東京芸術大学（非常勤講師）、洗足学園大学（非常勤講師）。日本電子音楽協会、日本作曲家協議会、先端芸術音楽創作学会、各会員。

門脇 治 KADOWAKI Osamu

1964年塩埕市生まれ。宮城教育大学卒および同大学院修了。作曲を故本間雅夫、吉川和夫の両氏に師事。

林 恭平 HAYASHI Kyohei

1984年福井県で生まれる。2012年、大阪芸術大学大学院作曲コース修了。セツ矢博資、上原和夫、宇都宮泰、楢垣智也、に師事する。在学中より、電子音楽の創作を行い、芥川龍之介の提唱する「話らしい話のない小説」を電子音、具体音によって表現した文学性に溢れた電子音楽作品は、国内外で多数、入賞、入選を果たし高い評価を得ている。また、音楽作品だけではなく、映像制作も同時に行っている。日本電子音楽協会会員。日仏現代音楽協会会員。
入賞・入選歴 <2013: 『sakura』 International Computer Music Association 入選 / 『Expressionless bicycle rider OK』 Nit electro sonora(スペイン) (映像作品) 入選> <2011: 『sonic lady city』 Prix Russolo(フランス)入選 / 『L'Etranger』 Contemporary Computer Music Concert(日本) MOTUS賞> <2010: 『action painting music』 Contemporary Computer Music Concert(日本)入選> 上演歴・放送歴 <2014: 『Stained-glass windows the sky』 Concertzender Nederland (ラジオ) (オランダ)> <2013: 『sakura』 International Computer Music Association (オーストラリア) / 『Expressionless bicycle rider OK』 Nit electro sonora(スペイン)> <2012: 『Broadcast Yourself』 SYNTAX 112 L'Art radiophonique(フランス) / 『sonic lady city』 Traces de sons(フランス) / 『L'Etranger』 Futura(フランス)> <2011: 『L'Etranger』 elektramusic (ウェブラジオ) (フランス)> <2006~2009: Audio Art Circus 06.07.09.2010(日本)> CD出版 <2012: "Eros' Weapons" Studio Forum Monochrome Vision (ロシア)>

平山 晴花 HIRAYAMA Haruka

新潟県出身。6歳よりピアノを習い、国立音楽大学音楽デザイン学科(現 音楽文化デザイン学科)にて作曲、コンピュータ音楽を葉孝之、コート・リッピ各氏に師事。同大学大学院修士課程修了。現在、マンチェスター大学NOVARS研究所にてエレクトロアコースティック作曲の博士課程に在学中。リカルド・クリメント氏に師事。2005年、第32回ブルジョア国際電子音楽コンクールレジデンス部門においてソプラノサクソフォンとコンピュータの為の作品Swallow がレジデンス賞を受賞。また2012にはIAWM主催女性作曲家によるSearch for New Musicコンクールエレクトロアコースティックメディア部門においてポーリン・オリヴェロス賞を受賞。作曲家としての活動は国内での作品発表に留まらず、ストックホルム電子音楽スタジオ(EMS)でのコンポーザーインレジデンスや、バーゼルを拠点としているChaotic.moebiusからの器楽曲の委嘱、また、国際音楽祭や会議における音楽作品の入選など多岐に渡る。現在まで作品は日本、スペイン、アメリカ、フランス、スウェーデン、ドイツ、カナダ、イギリス、オーストラリア、スイス、オランダ、韓国各国で演奏されている。

RAKASU PROJECT. (落 見子)

京都市在住、音楽家。広島大学学校教育学部(現・教育学部)中学校教員養成課程音楽科卒業、広島大学大学院学校教育研究科音楽教育専攻修了。電子音響音楽から商業音楽制作まで、幅広い活動を行う。坂本龍一・矢野顕子プロデュースアルバム「Demo-Tape」、坂本龍一トリビュートアルバム「music plans skmt tribute」参加。2005年には「昭和40年展 七人も侍」展(広島市現代美術館)にて、土佐正道、九十九清美とともにバンド「前明和電機社長土佐正道とThe広島グッドデザイン」(現:「明和電機会長土佐正道とThe広島グッドデザイン」)を結成。広島と東京でライブ活動を行う。2006年から、サウンドアーティスト有馬純寿とラップトップデュオユニット「RPASA」を結成、全国各地でライブ活動を行うほか、フジタダイスケ、酒井康志、寺内大輔、船田奇孝、等、多数のアーティストと共演。近年では、コンピュータに内蔵された各種センサーを使用したパフォーマンスや、Max/MSPやGainerを活用したサウンドインスタレーション制作なども手がけている。現在、京都精華大学ポピュラーカルチャー学部 特任准教授。同志社女子大学と帝塚山学院大学で非常勤講師を務める。

日 時 2014年7月12日(土) 18:00開場 18:30開演
料 金 2,000円
会 場 CAP CLUB Q2 〒650-0041 神戸市中央区新港町1-3 1F Q2
http://www.cap-kobe.com/club_q2/

お問合せ 日本電子音楽協会事務局
info-jsem@jsem.sakura.ne.jp

C.A.P.事務局 (10:00-19:00/月曜休み)
TEL: 078-222-1003
info@cap-kobe.com
http://cap-kobe.com

主 催 C.A.P. (芸術と計画会議) / 日本電子音楽協会
協 賛 株式会社ジーベック
助 成 公益社団法人企業メセナ協議会
企画構成 石上和也、山雄正樹
美術照明 サカイヒロト、植田宏美
イラスト pikkoro



会場の場所は分かりにくい。三宮駅からポートライナーのポートターミナル駅で下車いただくと、改札を出てすぐ左手の階段室に入るための小さな暗いドアにA4サイズの「Q2」案内シートが貼り付けてあります。このドアから階段を1フロア分降りてください。以降、同様の案内シートをたどっていただければ、会場にたどり着くと思います。途中、「たこ焼き」というレストランのバックヤードみたいなのところも通ります。「えっ、まさかこの道?」というところを勇氣を出して来て下さい。会場は港湾関係事務所に使われていたところです。トイレも少なく、ご不便おかけしますが、よろしくお願ひいたします。

CAP CLUB Q2: 078-959-7707

※ 会場への問い合わせは当日のみ応答できます。